

作 成 年 月 日	平 成 2 0 年 1 2 月 1 日
作成部局課室名	教育委員会事務局社会教育課

兵庫県立美術館と滋賀県立近代美術館との相互協力に関する基本協定の締結

兵庫県立美術館（館長：中原佑介）と、滋賀県立近代美術館（館長：尾野正晴）は、県立美術館を取り巻く厳しい行財政環境のもと、互いの持つ文化的資源の有効活用を図るとともに、両館の連携を通じてそれぞれの県民をはじめとする地域社会への芸術文化面での貢献をより充実させることを目的として、相互協力に向けた協議を進めてきましたが、このたび合意に至りました。

つきましては、両館の相互協力に関する基本協定の締結式を下記のとおり開催します。

記

- 1 日 時
平成20年12月5日（金）14：00～14：30
- 2 場 所
兵庫県立美術館 レクチャールーム
（神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1）
- 3 出席者
兵庫県立美術館長 中原 佑介
滋賀県立近代美術館長 尾野 正晴
- 4 協定の概要（基本協定書（案）のとおり）
相互の協力活動の基本的な内容を定めるとともに、これに伴う費用負担のあり方や、有効期間などを併せ定める。
〔協定の核となる協力活動〕
展覧会の共同開催及び共同研究
所蔵品の相互活用
学芸員の交流
ボランティアの交流
〔費用負担〕 原則として無償、相手側に費用負担を求めない。
〔有効期間〕 締結の日から平成23年3月31日までとする。

添付資料

- 1 兵庫県立美術館と滋賀県立近代美術館との相互協力に関する基本協定書(案)
- 2 兵庫県立美術館、滋賀県立近代美術館概要

問合わせ先

兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

営業・広報グループ TEL：078-262-0905（直） FAX：078-262-0903

兵庫県立美術館と滋賀県立近代美術館との相互協力に関する基本協定書（案）

兵庫県立美術館（以下「甲」という。）と滋賀県立近代美術館（以下「乙」という。）は、双方の持つ人的および物的資源の有効活用や、地域社会への貢献を目的として、以下のとおり相互協力に関する基本協定を締結する。

（相互協力活動）

第1条 甲および乙は、上記の目的を達成するため、次の事項について相互に協力するものとする。

- （１） 展覧会の共同開催および共同研究
- （２） 所蔵品の相互活用
- （３） 学芸員の交流
- （４） ボランティアの交流

（実施内容）

第2条 相互協力活動の具体的な実施内容は、甲および乙が別途協議するものとする。

（費用負担）

第3条 相互協力活動は、原則として無償とし、相手方に費用負担を求めないものとする。

（協定の有効期間）

第4条 この協定の有効期間は、締結の日から平成23年3月31日までとする。ただし、有効期間満了の日から1カ月前までに、甲または乙から改定または廃止の申入れがないときは、さらに1年間継続するものとし、その後もまた、同様とする。

（その他）

第5条 この協定に関し疑義が生じたとき、またはこの協定を変更する必要があるが生じたときには、甲および乙は誠意をもって協議するものとする。

この協定の締結を証するため、本協定書2通を作成し、甲および乙が記名押印のうえ、各1通を保有する。

平成20年 月 日

甲	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 兵庫県立美術館 館長
乙	滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1 滋賀県立近代美術館 館長

兵庫県立美術館、滋賀県立近代美術館概要

美術館名		兵庫県立美術館	滋賀県立近代美術館
所在地		兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1 - 1 - 1	滋賀県大津市瀬田南大萱町1740 - 1
電話番号		078-262-0901	077-543-2111
館長名		中原 佑介	尾野 正晴
特色など		県民に広く美術の鑑賞と学習の機会を提供するとともに、美術に関する県民の知識と教養に寄与することを目的とし、展示・収集・普及活動を行っている。 約8,000点の収集品の中には、「具体」の作品142点、山村コレクション163点を含む。兵庫県ゆかりの金山平三記念室、小磯良平記念室もある。	日本美術院を中心とした近代日本画と郷土滋賀県ゆかりの美術及び戦後のアメリカと日本を中心とした現代美術作品を収集している。 女性日本画家小倉遊亀画伯(滋賀県出身)の作品コーナーを常設している。
開設日 ()内は兵庫県立近代美術館		平成14年4月6日(昭和45年10月10日) 前身は、昭和45年10月10日開設の県立近代美術館。阪神・淡路大震災からの文化復興のシンボルとして現在の美術館が開設されたことに伴い、元の近代美術館は美術館分館として、貸しギャラリー等に活用している。	昭和59年8月26日
施設規模	敷地面積	19,000.00㎡	18,289.00㎡
	建築面積	12,807.71㎡	6,773.00㎡
	延床面積	27,461.46㎡	8,544.00㎡
開館時間		10:00～18:00	9:30～17:00
入館者数	17年度	674,092人	105,786人
	18年度	434,003人	142,954人
	19年度	606,676人	136,264人
組織・職員数	行政系職員	18人	5人
	学芸系職員	15人	7人
	臨時職員等	18人	4人
	計	51人	16人

美 術 館 名			兵庫県立美術館	滋賀県立近代美術館
観覧料	一般(個人)	常設展	500円	350円
		特別展	～ 2,000円	800 ～ 1,000円
	大学(個人)	常設展	400円	250円
		特別展	～ 1,500円	600 ～ 800円
	高校(個人)	常設展	400円	250円
		特別展	～ 1,500円	600 ～ 800円
	小・中(個人)	常設展	250円 無料(県内)	120円
		特別展	～ 1,000円 無料(県内)	400 ～ 6 0 0 円
	高齢(個人)65歳以上	常設展	250円	無料(県内)
特別展		～ 1,000円	800 ～ 1,000円	
収蔵品数 (寄託品を除く)	絵 画		1,652点	606点
	版 画		4,113点	145点
	彫 刻		166点	34点
	工 芸		5点	418点
	その他		2,169点	78点
	計		8,105点	1,281点
館蔵品の特色			小磯良平、金山平三、村上華岳などを中心とした郷土ゆかりの日本近代美術の他に彫刻(ロダン「永遠の青春」など)、版画の名品(アンソール「カテドラル」など)を有する。さらに、具体グループの最大コレクションを所蔵する。	日本美術院を中心とした近代日本画(菱田春草「落葉」)や、小倉遊亀など郷土滋賀県ゆかりの美術、さらに戦後のアメリカ美術の優品(モーリス・ルイス「ダレット・ペー」など)を有する。
20年度 特別展			南画って何だ?！近代の南画ー日本のこころと美 冒険王・横尾忠則 シャガール展 色彩の詩人 兵庫県立美術館＋オスカー・ニーマイヤー美術館交流展覧会 ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密	ブルーノ・ムナリー展 ファール昆虫記の世界 葛飾北斎展 アール・ブリュット～パリ、abcdコレクションより～ 滋賀県美術展覧会 はじめての美術館
ボランティア		人 員	231人	87人
		活動内容	作品解説、こどものためのイベント指導、美術関連資料の整理、学校団体の指導補助など	作品解説、美術館事業のサポート、地域における広報活動など